

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>司会：渡部課長</p> <p>戸ヶ崎福祉部長</p> <p>司会：渡部課長</p>	<p>皆様こんばんは。 本日はお忙しい中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。 私、本日の司会を務めさせていただきます、高齢者福祉課長の渡部と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。 まず会議に入ります前に、4月の人事異動などに伴いまして、2名の委員の方に交代がございました。 つきましては、梅田市長に代わりまして福祉部長の戸ヶ崎から委嘱書の交付をさせていただきます。 それではケアプランセンターの堀江様、委員をお願いいたします。 久喜市中央地域包括支援センター狩野様、委員お願いします。 ありがとうございました。 続きまして本会議の運営につきましてご案内申し上げます。 会議録の作成でございます。 会議録につきましては、「てにをは」や繰り返しの発言などを整理させていただきました上で、全文記録方式で作成し、後程公開させていただきます。 そのため、現在会議を録音させていただいておりますのでご了承くださいたいと存じます。 会議録につきましては、事務局で作成いたしまして、委員の皆様にご確認をいただきました後、議長と議事録署名人2名の方に署名をいただきまして、ホームページなどで公開をさせていただきます。 運営に関しては以上でございます。 ご質問等ございますでしょうか。 大丈夫でしょうか。 ありがとうございます。</p>
<p>司会：渡部課長</p> <p>関谷座長</p>	<p>それではただいまから「令和6年度第1回久喜市在宅医療・介護連携推進会議」を開催させていただきます。 本日は、委員の方19人のうち18人の方にご出席をいただいております。 それではこれから会議開催に当たりまして、関谷座長からご挨拶を頂戴いたしたいと思っております。 関谷座長よろしくをお願いいたします。 本日は暑いところ、お集まりくださりましてありがとうございます。 昼も夜もエアコンがないとなかなか体調管理が難しい日々が続いております。健常人でも、結構、体調管理は難しいと思っておりますが、体温感覚が低下している高齢者や自分の体調を訴えられない高齢者、さらには、基礎疾患のある高齢者の皆さんにとって、医療と介護が非常に重要な要素になってきます。 この会が、この地域の医療介護の向上に繋がるようにするべく、今日の会議をよろしくお願いいたします。</p>

司会：渡部課長	<p>関谷座長ありがとうございました。 それではこれから、久喜市在宅医療・介護連携推進会議設置要領第5条第2項の規定によりまして、関谷座長に議長をお願いいたしまして、議事を進めていただきたいと思います。</p>
議長（関谷座長）	<p>関谷座長よろしくをお願いいたします。 ご指名ですので、議事を進めさせていただきます。 着座にて失礼いたします。</p>
新井委員 議長（関谷座長） 越川委員 議長（関谷座長）	<p>円滑に協議が進行いたしますよう、皆様のご協力をお願いいたします。 それでは、本日、最初に本日の会議の議事録署名人を確認させていただきます。 資料1-2で配布しました委員名簿の1番目の新井克典委員と、15番目の越川由香里委員にお願いしたいと思います。 新井克典委員、よろしいでしょうか。</p>
事務局：加納補佐	<p>はい。 越川由香里委員、よろしいでしょうか。 はい。 ではよろしくをお願いいたします。 それでは本日の協議事項に移ります。 まず協議事項1、久喜市在宅医療・介護連携推進活動について、令和5年度の報告と令和6年度の活動案でございます。 事務局から説明をお願いいたします。</p>
	<p>（1）久喜市在宅医療・介護連携推進事業の活動について、令和5年度の報告と令和6年度の活動案についてをご説明いたします。 資料4をご覧ください。 右側に、アからクの項目ごとに、令和4年度までに実施した内容と、令和5年度の実施と、令和6年度の予定について記載しております。 アの地域の医療・介護資源の把握につきましては、令和3年度より導入いたしました、社会資源把握システム、ケアプロnaviの情報更新のため、関係機関に基本情報確認シートを送付し、ご回答いただきました最新情報を、随時ケアプロnaviに反映させ、市民の方に公表しております。 各機関へのアンケート回収率からもわかる通り、調査について、関係機関の協力を得ることが課題となっております。 令和6年度も同じように調査を行って参ります。 また、前回会議にてご提案いただきましたが、今回はアンケートの送付前に、市からお願いの通知を出す予定であり、それでも回答のない関係機関につきましては、1件ずつお声掛けをさせていただこうと思っております。 次に、イの在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討についてですが、令和5年度は5月16日と、11月7日、3月9日の3回会議を開催し、事業の取り組みと課題について協議をいたしました。 また、在宅医療・介護関係者の研修会について協議を行い、皆様のご協力を得たところでございます。 令和6年度は、推進会議を年3回、本日を含め、11月頃と3月頃を予定しており、研修会は年2回、8月20日と1月を予定しております。 皆様の活発なご意見とご協力をお願いいたします。</p>

事務局：加納補佐

2ページをご覧ください。

ウの切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進についてでございますが、南埼玉郡市医師会に一部業務を委託しております。令和4年度に、入退院支援ルール策定の協議体を立ち上げ、会議を2回行いました。

令和5年3月に、入退院支援ルールが策定され、リーフレットができ上がり、配布しております。

リーフレットは、令和5年4月に、皆様や他の関係機関にも郵送等で広く周知させていただきましたが、より詳しい説明を希望される場合は、直接伺うなどして対応したいと考えております。

また、訪問診療を受けるにはという簡単な冊子を作成し、在宅医療サポートセンターのホームページ及び市の窓口で配布しております。

その他、在宅医療・介護関係者向けの動画コンテンツを作成し、在宅医療サポートセンターのホームページで公開しているとの報告を受けております。

次に3ページをご覧ください。

オの在宅医療・介護連携に関する相談支援についてでございますが、令和5年度に在宅医療サポートセンターで行われた相談実績は、久喜担当の医師会在宅医療サポートセンターが81件、蓮田、白岡、宮代担当の奏（かなで）診療所が51件となっております。病院関係者や地域包括支援センター、介護支援事業所などからの相談が主となっております。

4ページをご覧ください。

カの在宅医療・介護連携関係者の研修についてでございますが、令和5年度は2回開催いたしました。

皆様のご意見を含めまして、第1回目は7月26日に、「入退院支援ルールについて」と「アドバンスケアプランニングACP人生会議とは」というテーマで行いました。

2回目は1月17日に「後見人制度と身元保証人の違い、意思決定支援の基本的な考え方」というテーマで行いました。

令和6年度につきましては、第1回目の研修会は、次の議題で取り上げる予定ですが、それ以外に幾つかの候補を挙げさせていただきます。

お手元の厚生労働省資料1をご覧ください。

「在宅医療・介護連携推進事業の手引き改定の要旨（抜粋）」より、4つの場面を意識したPDCAサイクルの考え方と展開例として、ライフサイクルにおいて、場面ごとに必要な医療と介護のサービスの比重が変わるものの、地域において、在宅療養者が医療と介護を必要とする場合には、医療と介護が連携し、高齢者が住み慣れた地域で最期まで生活がすることができるよう支援が必要である。在宅療養者の生活の場で、医療と介護を一体的に提供するために、在宅医療の場面を生かしつつ、さらに入院時から退院後の生活を見据えた取り組みができるよう、高齢者のライフサイクルを意識した上で、本事業においては、医療と介護が主に共通する4つの場面、日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取りを意識して取り組む必要がある。

なお、この4つの場面は双方が重なり合っていることも少なくないことに留意が必要である。

<p>事務局：加納補佐</p>	<p>4つの場面ごとの現状分析、課題抽出、目標設定等を行う前提として、地域の目指すべき姿を必ず設定し、その目的を実現するために、達成すべき目標を4つの場面ごとに設定することが重要であるとあります。</p> <p>裏面の厚生労働省資料2の、在宅医療と介護連携のイメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）をご覧ください。</p> <p>日常の療養支援には、多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの在宅医療・介護の提供。</p> <p>緩和ケアの提供。</p> <p>家族への支援。</p> <p>認知症ケアパスを活用した支援。</p> <p>入退院支援には、入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働・情報共有による入退院支援、一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供。</p> <p>急変時の対応には、在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確認、患者の急変時における救急との情報共有。</p> <p>看取りには、住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施、人生の最終段階における意思決定支援があります。</p> <p>これら4つの場面それぞれの目指す姿を考えます。</p> <p>今回は、急変時の対応として、目指す姿は、医療、介護、消防（救急）が円滑に連携することによって、在宅療養生活を送る、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時に、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにするという事にいたします。</p> <p>例えば課題として、あんしんカード（久喜版）の周知・普及はどこまでか、必要な方に配布されているか、更新されているか。実際の救急現場での活用について、専門職が知らないのではないかとということが挙げられます。</p> <p>その対応策をどうしたらよいか。</p> <p>消防との連携についての課題としては、救急隊が本人の基本情報を掴みにくいので、何の情報を必要としているのか、何を用意しておけばよいのか、共通したことを考えるため、次回、8月の研修会で講話を依頼しております。</p> <p>次に、5ページをご覧ください。</p> <p>キの地域住民への普及啓発につきましては、市のホームページにおいて掲載をさせていただいております。</p> <p>また、本日参考資料としてお配りしました、「2024年度久喜市わたしの思いマイエンディングノート」につきましては、地域包括支援センター及び市役所、行政センターの窓口にも配架し、ご自由にお持ちいただけるようご案内しております。</p> <p>またACPの研修会も開催する予定です。</p> <p>令和6年度も同様に、広報誌やホームページ等で周知に努めたいと考えております。</p> <p>クの二次医療圏内・関係市区町村の連携につきましては、久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町の3市1町で集まり、事業について連携して進めているところでございます。</p> <p>令和6年度も引き続き連携を図って参ります。</p> <p>（1）久喜市在宅医療・介護連携推進事業活動令和5年度の報告</p>
-----------------	---

<p>事務局：加納補佐 議長（関谷座長）</p>	<p>と、令和6年度の活動案については以上でございます。 ありがとうございました。 ただいま、活動状況についての説明がありました。 会議と研修会の日程の報告がありましたので、出席のほど、ご協力をお願いいたします。 何かご質問がございますでしょうか。 高齢者が増えて、在宅医療もこれだけ展開するようになりまして、医療とこの研修会だけじゃなくて、こういう医療と介護のことは非常に重要で、それぞれが充実して、そしてその連携が非常に重要な要素だと思います。 ここ数年、5、6年7年ですか。 この活動を通して、久喜市の医療と介護の、連携も非常に良くなってきているのではないかと私は思っています。 その結果で、僕が新井病院で見ると限りでも、孤独死が少なくなって救われているという実感はあります。 だから、さらに医療と介護の連携は、深めていかななくてはいけないと思っております。 僕の方からちょっと質問させていただきますけれども、私のマイエディングノート、2024年度版っていうふうになっていきますけれども、これは改訂されているところが少しありますか、ほとんど一緒ですか。</p>
<p>事務局：加納補佐 議長（関谷座長）</p>	<p>内容についてはほぼ改訂はなく、総合支所が行政センターに変わっていますのでそちらの修正はされています。 多分、いろいろな工夫でお金も節約とかしていると思うんですけども、実を言うと、やはり在庫が出てきてしまうので、少しずつ順繰り使えるようにしたほうが、何年度って入れてしまうと、去年のまだ使えるようなものが、使えなくなってしまう。第何版とするといいかな。例えば埼玉県的意思表示ノートっていうのは第2版ですよ。こういうふうにしておくと、ちょっとぐらいの変更であれば、前のままでも気持ちよく使える気はするんですけどその点は、どういうふうを考えてるのでしょうか。</p>
<p>事務局：石河主任 議長（関谷座長）</p>	<p>年度は入れないで作って欲しいという依頼はしているのですけれども、新しい年度で作りたいという業者さんの意向がありまして、その点をいつも連絡をしながら作成させていただいているところがあります。 それから、修正箇所が年度の途中でありますと、正誤表を全部差し込みするようになってきますので、1年に1回という形で新しくさせていただいている状況です。</p>
<p>事務局：石河主任 議長（関谷座長）</p>	<p>はい、ありがとうございます。 ちなみに在庫はどのぐらいあるか、わかりますか。 毎年3,000~4,000部弱ほど依頼しまして、令和5年度は、600ぐらい残っています。</p>
<p>議長（関谷座長）</p>	<p>はい。ありがとうございます。 もしくはよければ「何版」というふうにしていただけると、それから、微妙な違いであっても支障がなければ、第2版とかですね、そういうこともできますので、これを廃棄してしまうとそれだけごみになってしまうので、その辺ちょっと工夫していただけるとよろしいかなと思っております。 何かご質問ございますか。</p>

<p>議長（関谷座長）</p> <p>事務局：加納補佐</p>	<p>では協議事項の1の「久喜市在宅医療・介護連携推進事業の活動について」はよろしいでしょうか。</p> <p>はい、どうもありがとうございます。</p> <p>では次に協議事項2、「第1回在宅医療・介護関係者研修会の開催について」です。</p> <p>事務局からよろしく申し上げます。</p> <p>（2）第1回在宅医療・介護関係者研修会の開催についてご説明いたします。</p> <p>資料5をご覧ください。</p> <p>令和6年度第1回在宅医療・介護関係者研修会の開催に関する案をお示ししております。</p> <p>この研修会は、地域の医療と介護の関係者が共通理解と情報共有に努め、多職種連携を推進するために実施するものでございます。</p> <p>研修会の参加により、知識の習得とともに顔の見える関係づくりを行うことで、今後の在宅医療と介護関係者との連携を円滑に図ることができるものと考えております。</p> <p>日時は令和6年8月20日火曜日、午後7時から9時、会場につきましては、鷺宮行政センター、旧鷺宮総合支所の4階、407・408会議室で参加者につきましては、医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員等、約80人を予定しております。</p> <p>第一部では、患者の急変時における救急との情報共有と題しまして、埼玉東部消防組合の星野救急隊長に、講師をお願いいたしております。</p> <p>第二部ではグループワークを行います。</p> <p>第一部の講義を聞いて、奇数グループは、在宅医療を受けている方が、救急車を呼ぶ場合、偶数グループは、通院治療を受けている、または未受診の方が救急車を呼ぶ場合と分け、意思表示ノート（エンディングノート）のある場合、ない場合、通院・入院時安心セットのない場合で、「普段からできること、しておいた方がよいこと」、「こんなのがあったらいいな、こんなことができるよ」など、専門職でできることを話し合っていたいただきたいと思います。</p> <p>総合司会を本会議の座長であります、新井病院院長の関谷先生をお願いいたしたところでございます。</p> <p>グループワークは1グループに各職種が配置されるように、参加者数を分けて行います。</p> <p>また、タイムスケジュールにつきましては、次のページに記載したとおりでございます。</p> <p>これらにつきまして、協議をお願いいたします。</p> <p>（2）在宅第1回在宅医療・介護関係者研修会の開催については以上でございます。</p>
<p>議長（関谷座長）</p> <p>事務局：加納補佐</p> <p>議長（関谷座長）</p>	<p>ただいま事務局から「第1回在宅医療・介護関係者研修会の開催について」説明がありました。</p> <p>何かご質問がありますでしょうか。</p> <p>これは厚生労働省資料の2の、この4つの四角の中の、「急変時の対応」、この研修を中心にするということによろしいでしょうか。</p> <p>はい、おっしゃる通りです。</p> <p>いろんなシチュエーションがあるので、それでどういうふうにするか、準備しといた方がいいかと、そういった研修ですね。</p>

<p>議長（関谷座長）</p> <p>事務局：加納補佐</p>	<p>それでは、協議事項の2はこれで終了させていただきます。 それでは協議事項の3、「在宅医療・介護連携推進事業業務委託について」です。 事務局から説明をお願いいたします。 （3）在宅医療・介護連携推進事業業務委託についてです。 資料4の「久喜市在宅医療・介護連携推進事業の活動状況について」をご覧ください。 平成30年度に久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町からなる3市1町と南埼玉郡市医師会において、在宅医療・介護連携推進事業業務委託契約を結び、相談拠点となる在宅医療サポートセンターを設置しました。 サポートセンターでは、主に在宅医療・介護連携に関する相談支援を中心に、2つの相談窓口を設置し、久喜担当は南埼玉郡市医師会サポートセンターが、蓮田、白岡、宮代担当は奏診療所が行っております。 また、ウの「切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進」と、「医療・介護関係者の情報共有の支援」の一部を、南埼玉郡市医師会在宅医療サポートセンターに委託して事業を行っております。 令和5年度は、「入退院支援ルール」の周知や、在宅医療・介護関係者対象の動画コンテンツを作成し、在宅医療サポートセンターホームページで公開しております。 また、医療・介護関係者を対象として、日本地域ケア学会の「2024年度、同時改定とその後の地域包括ケアシステム構築」と題しまして、録画視聴会を行いました。 令和6年度につきましても、在宅緩和ケアに関する研修会を実施する予定と伺っております。 今後の経過についても、この会議で報告して参ります。 （3）在宅医療・介護連携推進事業業務委託についての説明は以上でございます。</p>
<p>議長（関谷座長）</p>	<p>事務局からの説明、委託については今までと同じようにして、南埼玉郡市医師会のサポートセンターと奏（かなで）診療所の方に委託を引き続きするという事によろしいでしょうか。 質問等何かございますでしょうか。 これは承認するという事によろしいと思います。 それでは協議事項の4、その他について事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局：加納補佐</p>	<p>（4）その他についてです。 レモン色のチラシ「お役に立ちます！地域包括支援センター」をご覧ください。 久喜市では、市内5ヶ所に地域包括支援センターを設置しております。高齢者に関する相談がございましたら、お住まいの地区の地域包括支援センターにご連絡、ご紹介くださいますようお願い申し上げます。 また、事務局から次回の会議予定についてご説明を申し上げます。次回の会議につきましては、研修会後の11月ごろを予定しております。会場の確保等でき次第、委員の皆様にお知らせいたします。 事務局からは以上でございます。</p>
<p>議長（関谷座長）</p>	<p>ありがとうございました。</p>

<p>議長（関谷座長）</p> <p>事務局：渡部課長</p>	<p>私の病院なんかでも、困ったなっていう方がやっぱりいらっしゃって、どこに行ってもいいかわからないという方が結構いらっしゃるのは事実だと思います。</p> <p>そういうためにですね、いろんなところに根っこを延ばして対応できる、システムづくり、この地域内でのシステム作りが非常に重要だと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。今の説明で、次回の会議の日程が11月中ということなので、決まり次第事務局から委員への通知をお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして本日の協議事項については終了いたします。</p> <p>これをもちまして議長の職を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p> <p>関谷座長、委員の皆様どうもありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして「令和6年度第1回久喜市在宅医療・介護連携推進会議」を閉会とさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席を賜りましてどうもありがとうございました。</p>
---------------------------------	--

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和6年 8月 5日

議事録署名人 議長 関谷 栄

議事録署名人 委員 新井 克典

議事録署名人 委員 越川 由香里